

# 京都シェアワセ運ぶ情報誌の福祉

576  
2019年  
3月

## Contents

- 「権利擁護支援の地域連携ネットワーク」の構築を  
～社協の積み上げた実践と英知を結集し、新しい仕組みづくりに活かす～
- 災害に強い地域づくりを考える  
～京都DWATの活動から～  
地域で共に生きることを考える  
夢中！熱中！ふくしびと



もえぐさ

3月は旧暦で弥生と称して、草木

がいよいよよい生い茂る時期であるが、日本では、年度変わりの時期となり、3月から4月にかけては、出会いと別れとが毎年、繰り返される▼人生の限られた時間の中で出会える人の数は、出会えない人の数よりずっと少ない。だからこそ、出会った人をどれだけ大事にできるかと改めて思う時期でもある▼私もこの1年間に、多くの方々との新しい出会いがあり、挨拶を交わし、名刺を交換してきた▼新しい出会いの中で、この方とは今後関係があるはずだからと思える良い出会いもいくつもあったが、次に会ったときには、その方のお名前が思い出せないことも何度か経験をした▼先日、先方は私の名前を呼んでくださるが、こちらは名前を思い出せない時があり、真に、いごちの悪さを感じたものだ▼このようなくとも年齢のせいにして自身を誤魔化しているが、年を重ねること、もっともつと深みがある生活を送っていきたくと思う▼「平成」という30年続いた時代が終わりを迎え、新たな時代が始まろうとしているこの時、過去を振り返りながら、新たな時代に思いを馳せたいものだ▼人生100年時代と言われて、人づくり革命や働き方改革などと仰々しくなっているが、今後は、より一層の多様性を尊重した生き方が大切になると感じている。そして、人は人によって磨かれるのだらう▼さて、これから、どのような新しい出会いがあるかとワクワク感を膨らませている。

(MY)

# 「権利擁護支援の

# 地域連携ネットワーク」の構築を

「社協の積み上げた実践と英知を結集し、新しい仕組みづくりに活かす」

認知症高齢者の増加、知的障害や精神障害のある方の地域生活の移行や「親なきあと」の支援の仕組みづくりなどが喫緊の課題となっております。家族や地域のつながりの希薄化がすすむことが難しいなど、生きづらさを抱える人の尊厳が脅かされる場面が多くなっています。権利擁護支援を必要とする人が、住み慣れた地域で豊かな生活を送ることができる地域連携ネットワークを構築することが必要です。

## 1 政策動向

### 成年後見制度の現状

民法が定める「成年後見制度」は、本人の判断能力等の程度により、「後見」「保佐」「補助」の3類型に応じた成年後見人等に代理権や同意権、取消権などの権限を付与し、本人を支援するものです。全国で210、290人（平成29年12月）が利用し、年々、増加しています。

成年後見人等は、財産管理と身上の保護の役割を担うことと

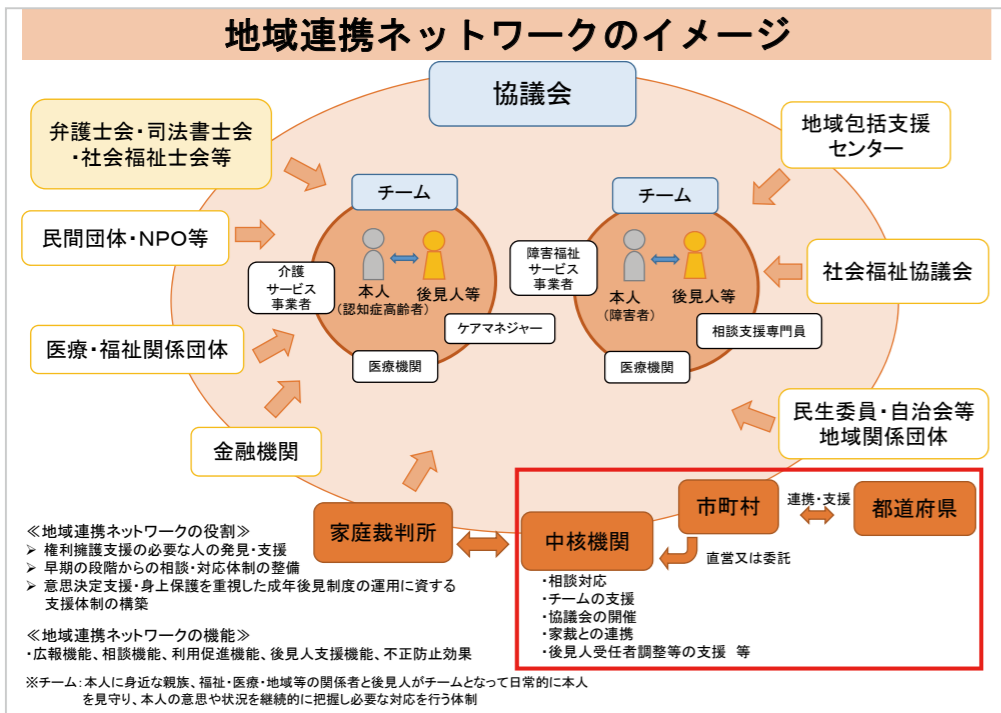
されていますが、実際は、預貯金の出し入れや不動産処分などの財産管理が問題となったときに、親族や支援関係者などがやむを得ず制度を利用するケースが多く、このような場合、本人の「自己決定権」の権利行使の視点は後退することがあります。

### 成年後見制度利用促進法の制定と自治体の責務

平成28年4月に議員立法による「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が成立しまし

用援助事業の利用者数は年々増加し、平成30年11月末現在の実利用者数は841人、延べ利用者数は2、131人となっています。（京都市を除く京都市内）

実際の相談では、多重債務、アルコール依存、虐待、障害特性によるこだわりなど課題が複雑・多岐にわたっており、法律、医療や介護などの支援にか



平成29年3月内閣府作成「成年後見制度利用促進基本計画について」所収

た。同法では自己決定権や自発的意思の尊重、身上保護の重視、市民後見人等の育成、関係機関の連携、体制整備などを基本理念として掲げています。（法第3条）

また、国、市町村や都道府県の責務を鮮明にしています。第5条では「地方公共団体は、基本理念にのっとり、〈中略〉、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、および実施する責務を有する。」とし、施策に関する「基本的な計画」を定めることや必要措置を講じる（法第14条）役割と実施の責務が明記されました。

ネットワーク活動」そのものといえます。

### 福祉サービス利用援助事業と成年後見制度の接点

福祉サービス利用援助事業の契約終了理由のうち「成年後見制度を利用することになったため」が全体の3割程度を占め、年々増加しています。また、成年後見人等が選任されるも、福祉サービス利用援助事業を併行して日常生活を見守る支援ケースが増えていま

## 4 「住民主体」による権利擁護支援の体制づくりを目指して

京都府社協は、平成30年3月以降、京都府、京都家庭裁判所との三者により、定期的な情報交換・協議の場に参加するとともに、京都市内で中核機関設置を目指す市町村の立ち上げ準備の協力をしています。また、セミナーの開催や市町村社協が権利擁護支援体制の構築を行う際の助成事業（モデル事業）を準備しており、市町村社協とともに権利擁護のネットワークづくりを進めていきます。京都府社協は、下記のとおり市町村社協における当面の取組み方針案を提起しています。当然、権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりや中核機

### 「権利擁護支援の地域連携ネットワーク」と「中核機関の整備」

政府は平成29年3月に「成年後見制度利用促進基本計画」（以下、「基本計画」という）を定め、2021年度末完成までの5か年の工程表を設定しました。基本計画では特に、①地域におけ

## 2 京都府社協及び全社協の方針

京都府社協は、平成28年度に「京都府における権利擁護・成年後見制度のあり方に関する検討委員会」を立ち上げました。提言として、市町村行政に対し施策の策定や体制整備を図ること、市町村社協に対し権利擁護に関するニーズ調査の実施、当事者参加と専門職との協働、市町村計画への意見参画、法人後見の実施等を掲げ、京都府社協は広域的支援を行う必要があると報告しています。

## 3 福祉サービス利用援助事業と地域連携ネットワーク

京都府内の全市町村社協は、

す。さらには、社協自らが法人後見事業を実施したり、市民後見人の養成に取り組み、支援の連続性や継続性を大切にしている市町村があります。

このように、社協は福祉サービス利用援助事業を進めてきた経験を活かし、成年後見制度利用促進における地域連携ネットワークの構築を担うに相応しい機関の1つとして、地域の役割と期待に応えることが求められます。

関の設置は、当該自治体の責任において人材の確保や相談支援体制の整備のための予算化を図ることが必要です。

これを前提としたうえで、具体的な取り組みの検討にあたっては、社協が当事者や民生委員などの住民、専門職等の関係者の声を聴き、地域のニーズを十分に汲み取ることが重要です。そのうえで、社協として主体的に新しい施策や体制整備に反映できるように政策提言を行うなどの積極的な姿勢が求められます。そして、会長、理事をはじめとする役員が、新しい仕組みづくりに向けて社協の役割を明確にし、具体的な取り組み方法を探ることが大切です。

## 市町村社協の当面の取組み方針案

### 1 市町村行政との協議・意見交換

- 市町村行政における所管窓口の確認
- 成年後見利用促進・中核機関の設置に関する行政の考え方、取組みの意向確認
- 市町村計画または地域福祉計画への意見参画
- 市町村行政等が主催する学習会や中核機関設置の準備会等への積極的な参画

### 2 地域の実情把握

- 具体的な権利擁護ニーズの把握、実態調査の実施（対象見込み者数の把握等）
- 当事者、当事者家族の参加、権利擁護に関するニーズのヒアリング活動の実施
- 民生委員、福祉・医療関係機関等との意見交換の場づくり

### 3 市町村社協の役割の確認

- 福祉サービス利用援助事業と成年後見制度との接点についての確認
- 既存の地域福祉ネットワーク（絆ネット等）と権利擁護支援の関連付け
- 中核機関の設置が行われる場合は受託の検討、行政や関係機関等との協議



# 災害に強い 地域づくりを考える

～京都DWATの活動から～

昨年は全国的に災害が多発し、6月の大阪北部地震や7月の西日本豪雨災害では京都府内でも被害が発生しました。大きな被害が発生すると避難所での生活を余儀なくされる場合もあります。東日本大震災では、避難先で体調を崩して亡くなる等の災害関連死が注目され、二次被害を防ぐために「福祉チーム」の必要性が認識されるようになりました。

本号では京都府の災害時要配慮者支援の取り組みを通して、災害に備えた地域づくりについて考えます。

## 京都府災害派遣 福祉チーム(京都DWAT)とは

京都府では平成26年度から「京都府災害派遣福祉チーム」(以下、「京都DWAT」)の養成研修を実施し、府内の各圏域に12チームを設置しています。京都DWATは、災害時の要配慮者の二次被害を防ぐことを目的とした福祉専門職のチームで、介護福祉士や社会福祉士、介護支援専門員、看護師など約130人が登録しています。平成28年の熊本地震や昨年の西日本豪雨災害では、被災地の一般避難所にチーム員を派遣し、避難



第5回京都市消防団フェスタ

所における福祉的な相談支援や避難所の環境改善などの活動に取り組みました。

### 各地域の平時の活動紹介①

#### 合同防災訓練に向けた事前ワークショップでの講義

日程：平成30年5月16日(水)  
場所：弥栄地域公民館大会議室(京丹後市)

内容：地域住民による避難所運営検討のための事前ワークショップにおいて、基礎知識を学ぶための講義を実施  
参加者：地域住民、青年会議所、京丹後市、京丹後市社協  
活動チーム員：丹後エリアチーム

熊本地震では京都DWATとして初めての派遣となりました。これまでDMAATなど医療チームの派遣および現地での受け入れは行われていたが、被災地における福祉職によるチームの派遣・受け入れは初めてだったため、活動も1つ1つ模索しながら作り出しました。

避難されている方や避難所を運営している人の信頼関係を得るための関係作りから始めて、チームの存在を知ってもらい受け入れてもらう土壌を固めました。

者が十分に活動するためには、支援を受け入れて有効に活用できる力(受援力)も重要となること、要配慮者支援も含む地域として持つ力(地域力)が災害時にも反映されるため、平時から地域力を高めておくことが大切であることなどを学びました。また、これまでは府内発災時に京都DWATのみで対応することを想定していましたが、いざという時に外部からの支援を上手に受け入れて支援をすすめる受援力のある地域づくりを目指し、平時から京都府内の各地域で活動を展開しています。

## 大切にしたい 平時の取り組み

京都DWATの平時の活動は基本的に各圏域のチームごとに取り組んでいます。地域や社会福祉施設の防災訓練への参画、学校での防災研修、地域の防災イベントでのワークショップ、研修や講演での講師など、様々な活動を展開しています。

く、高齢、障害、児童など普段交流がない施設や職種の枠を超えて京都DWATのチーム員つながりづくりとしての意味もあります。日頃からチーム員同士がお互いに顔の見える関係性を築いておくことで、災害時のスムーズな支援活動につながります。

れたチームですが、災害時に支援活動を展開するためにも、平時に地域で何ができているかが重要になります。いつ起こるかかわからない災害に備え、平時から地域つながりを大切にして、災害に強い地域づくりをすすめる中核として、これからも京都DWATは地域に根差した活動を展開していきます。

### 各地域の平時の活動紹介②

#### 華頂女子高校防災ワークショップ



華頂女子高校防災ワークショップ

日程：平成30年11月28日(水)  
場所：華頂女子高校(京都市東山区)  
内容：  
【講演】「もしも大地震で家が壊れてしまったら」  
【演習1】防災グッズ(新聞紙スリッパ、雨カップ)作成  
【演習2】段ボールベッド組立て・体験  
参加者：華頂女子高校1年生  
活動チーム員：  
京都市③東山・醍醐エリアチーム  
京都市④右京・西京・洛西エリアチーム

平時の活動は、京都DWATの広報・啓発とともに、地域の中で要配慮者に理解のある住民を増やすことを目指しています。「平時にできないことは災害時にもできない」と言われるように、平時から要配慮者にやさしい地域づくり、つまり「福祉のまちづくり」をすすめることが、万一の災害に備えることにつながります。

また、京都DWATの存在や役割を知ってもらうことで、災害が起こった時に京都DWATの支援を受け入れてもらうことにもつながり、災害時の活動がしやすくなります。

さらに、平時の活動は災害に備えた地域づくりだけでなく

### 各地域の平時の活動紹介③

#### 市原寮炊き出し訓練

日程：平成30年10月27日(土)  
場所：社会福祉法人市原寮(京都市左京区)  
内容：

京都DWAT活動紹介 真備(岡山)派遣の活動報告 京都DWAT活動パネル展示  
防災グッズ(新聞紙スリッパ)作成

参加者：市原寮関係者、地元自主防災会、消防団、地域住民など  
活動チーム員：京都市①北・左京エリアチーム

※このほかにも、各圏域でチーム員がさまざまな活動を展開しています。



# 夢中! 熱中! ふくしびと

だから続けたい この仕事

福祉の現場で働く人たちの熱い想い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で“熱い福祉”を“夢中”で実践している方々にスポットをあてて、元氣や楽しさ、やりがいを“生”の声でお届けします。

井上 千草さん いのうえ ちぐさ

施設名 医療法人岸本病院  
 デイサービスセンターハーティ  
 〒625-0057 京都府舞鶴市南浜町1-3  
 HP/URL : <http://www.myclinic.ne.jp/kishimoto/pc/index.html>  
 TEL.0773-65-2103 FAX.0773-66-3202  
 職種 : 介護福祉士 経験年数 : 7年8か月  
 ★好きな言葉 : ありがとう  
 ★今、夢中になっていること : 手話の勉強



## 介護職に出会って

★今後の目標(抱負)は?  
 この仕事に就いた時より今は小学生と年長の女の子、2人の母です。普段は仕事の帰りが遅い時や、家事や宿題をみたりと時間に追われるので、休みの日は主人と子供たちと買い物に出かけたり、家でゆっくりくつろいでお喋りしたりと子供中心の生活です。10月には家族でディズニーランドに行きました。子供も大きくなり行動範囲も広がったので、次の旅行の計画をたてるのが今の楽しみです。

★プライベートの過ごし方は?  
 小学生と年長の女の子、2人の母です。普段は仕事の帰りが遅い時や、家事や宿題をみたりと時間に追われるので、休みの日は主人と子供たちと買い物に出かけたり、家でゆっくりくつろいでお喋りしたりと子供中心の生活です。10月には家族でディズニーランドに行きました。子供も大きくなり行動範囲も広がったので、次の旅行の計画をたてるのが今の楽しみです。

★仕事を始めたきっかけは?  
 近所に住む小さい頃から可愛がってくれた祖母が軽い認知症になり、ヘルパーさんにお世話になる様子を間近でみて興味をもったからです。

★仕事の内容とやりがいは?  
 デイサービスで普段は利用者さんの送迎、食事や入浴の介助などを行っています。季節ごとの行事や桜や紅葉の頃には近くにドライブに行ったり外食に出かけたりと色々な行事を考えてとりいれています。日頃の仕事をしながら行事の計画や準備は大変ですが、利用者さんの楽しそうな笑顔やご家族の方からの感謝の言葉をもらうことの仕事をやってよかったとやりがいを感じます。



護の仕事の内容や必要な資格などとても進歩しています。介護は、これからさらに必要とされる仕事だと思つので、もっと知識を深め利用者さんへの対応、心くばりを身につけていきたいと思つています。



# 地域で共に生きることを考える

## 近畿地域福祉学会を京都で開催

平成30年12月8日、ひと・まち交流館京都にて近畿地域福祉学会平成30年度京都大会(所めぐみ実行委員長・関西大学教授)が開催されました。近畿府県の学生、専門職など200名を超える参加があり、盛況となりました。

今大会は、「私たちの目指す『地域共生社会』— 実現への課題と展望を探る —」をテーマに掲げ、研究者と実践者による自由研究・実践報告発表とパネルディスカッションを実施しました。自由研究・実践報告発表では、例年よりも多い、計15本の発表があり、「地域共生社会」の実践が近畿府県の各地で推進されている様子が窺えました。

パネルディスカッションでは、4名のパネリスト(猿渡洋子氏・男山B地区見守り隊隊長/民生児童委員、橋川光一郎氏・京都老人福祉協会 東高瀬川センター、荒川博氏・株式会社 都ハウジング、小野恵子氏・京都市社会福祉協議会)と2名のコメンテーター(上野谷加代子氏・同志社大学教授、平田義氏・イエス団 愛隣デイサービスセンター所長)によ



る熱い討議が行われました。パネルディスカッションの最後、登壇者より「共に生きるって」どう思うか、「だからこそ」こんな風にしていきたいというそれぞれの描く「地域共生社会」の展望を発表していただきました。(下記)きっと皆さんの中にも大切にしている思いや展望があるかと思つています。一人ひとりの思いを尊重しながら、オール京都でこれからも実践を進めていくことの大切さを改めて感じた学会となりました。

共に生きるって

幸福

共に生きるって

必要不可欠

共に生きるって

もどかしい

共に生きるって

むずかしい

共に生きるって

インクルーシブな社会をつくること

共に生きるって

オモロイやん



# 京都府社会福祉協議会 からのお知らせ

## 寄付

### ご寄付ありがとうございました

平成31年1月29日に『「オールスター映画の巨匠池田富保特別上映会」ご来場者有志他尾上松之助遺品保存会』様より33,087円をご寄付いただきました。

ご芳志の趣旨に沿い活用させていただきます。ありがとうございました。

## 案内

### 府社協では低利による融資を行っています

本会では、第1種・第2種社会福祉事業を経営する社会福祉法人、宗教法人及び民法第34条に規定する公益法人を対象に、京都府内(京都市を除く)で施設の整備・改築等を行うための資金貸付を行っています。

#### ●貸付対象事業

1. 施設整備資金(施設の新設・拡張・改造・修理に要する資金)
2. 設備整備資金(固定設備・機械・器具等の整備に要する資金)
3. 災害復旧等資金
4. 土地取得資金(施設整備等に必要な

土地取得に要する資金)

5. つなぎ資金(補助金・(独)福祉医療機構による貸付金等が交付されるまでに要する資金)

#### ●貸付限度額

1. 原則として5千万円(一部例外あり)
2. 特別養護老人ホームの整備については、1億円 ケアハウスを併設する場合は、1億5千万円

貸付条件等の詳細はお問い合わせください。

#### 【問い合わせ先】

総務課 TEL.075-252-6291

### 京都府保育園 就職説明会のご案内

保育の仕事に関心のある学生の方はもとより、一般の方も大歓迎！予約、履歴書は不要。ぜひご参加ください。

- 日時 3月10日(日) 13:00~16:30
- 会場 メルパルク京都5F (JR・地下鉄「京都」駅下車すぐ)
- 対象 保育園・認定こども園に就職を希望する一般・学生(来年3月卒業予定)等

【問い合わせ先】保育人材マッチング支援センター TEL.075-252-6333

### 安心して暮らせる地域づくりのパートナー京都府社協では、賛助会員を募集しています！

本会は社会福祉法に基づき設立された社会福祉法人です。京都府の地域福祉を推進する民間団体として「福祉で地域づくり」を合言葉に、住み慣れた地域で誰もが安心して生活できる、そんなまちづくりをめざし、諸事業に取り組んでいます。ご理解の上、ぜひ本会の「賛助会員」としてご支援ください。

#### 会費額(年額)

- 賛助会員 個人1□5,000円、法人1□10,000円で希望口数

#### <賛助会員の特典>

- 京都府社会福祉協議会発行の機関紙「京都の福祉」(年8回発行)をお送りします。府内の福祉の最新情報がお手元に届きます。
- 全社協出版部発行の福祉図書が割引価格で購入できます。
- 社会福祉大会など本会主催の講演会等のご案内を差し上げます。

#### 【問い合わせ先】

総務課 TEL.075-252-6291

●本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

<http://www.kyoshakyo.or.jp>

京都府社協

検索



本紙は、共同募金の配分金によってつくられています。

## 平成30年度 社会福祉施設 総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

## 事故・紛争円満解決のために！

### プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

#### 1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	新設 徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用			死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)		基本補償(A型)
補償A型	定員 1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
付見舞費用B型	以降1名~10名増ごと	1,500円
	基本補償(A型) 保険料	+
		【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所:1,300円 通所:1,390円

### プラン2 施設利用者の補償

### プラン3 施設職員の補償

### プラン4 社会福祉法人役員等の補償



です。 充実した補償と 割安な保険料

スケールメリットを活かした

◆30年度新設 クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763